

英語を楽しく

No.104
6, April

☆ 2009 年度、英語活動は、これからもっと活発化

毎回同じことの繰り返し = 飽きてきた③

危ぶまれること→

英語嫌いの子にしてしまう危険性

← 発音できない②

↑
英語がわからない = 英語文が不適切 ①



① 英語活動で 児童に言わせたい英語 とのために説明する日本語との使い分けが必要 (何をするか伝える時は、必ず日本語)



日本語
と英語で

② 英語音に慣れない児童には無理。

発音できないことで、「自分はだめ」と思い英語活動を楽しむ気持ちになれない。

③ 毎回、同じ内容、同じパターンならだれでもする意欲を失う。児童が興味を持つ英語活動の展開の工夫がいる (毎回様々なゲームをしても飽きる)。

児童は 初めは、ゲームに興味を示しても、最後は やはり飽きる。

実際、児童は、「英語を使い外国の人と話せる様になりたい。」と思っていることが多いものです。

☆ 楽しい英語活動とは、則ち、わかる英語ですること + 楽しい

○ わかる英語の条件

① 英語とそれを示す具体物が児童の目の前にあること。

② 児童にさせることは英語。そのしかたを説明するには日本語。

③ 練習と繰り返し (教師の説明が理解しにくい子は 具体的な実践を通じるとわかり易い。)

dog



犬

○ 楽しい条件

① ホンの少し競争の部分があるゲーム。

② 偶然が左右して勝てる要素のあるゲーム。

③ 個人として負けを体験するより集団として負けても気が楽なゲーム。

④ チームワークのできる (集団である喜びを得る) ゲーム

⑤ 初めてするゲーム (但し回を重ねるごとに上手になることでより楽しくなることもある)

○ゲーム選びに大切なこと

学年齢に 相応する程度のもを選ぶこと

Yoshi